KEECOON®

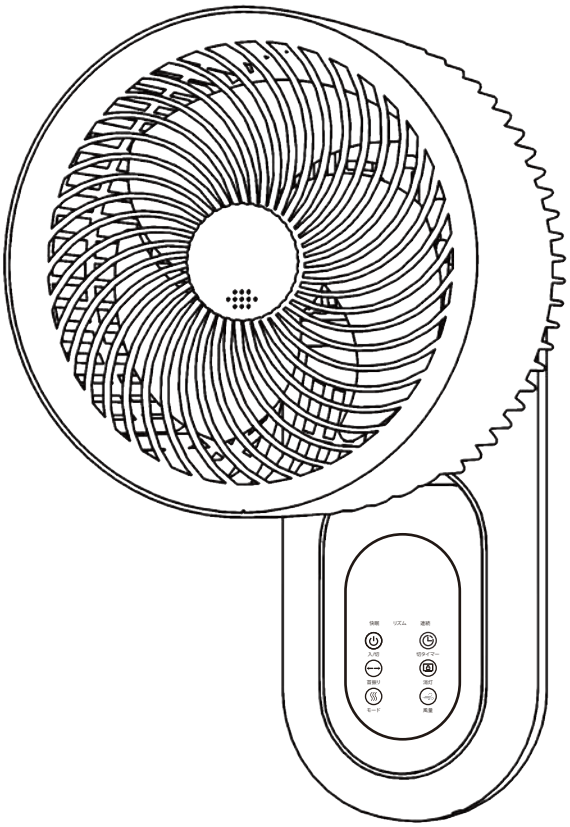
家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書

壁掛けサーキュレーター 家庭用

品番 KC-FS-237A



この度、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
いつでも参照できるように大切に保管してください。
何かございましたら、下記のご相談窓口にてご連絡ください。

相談窓口

03-4579-8386
support@keecoon.com
@455mppqy
(土日祝及び会社休業日を除く)

LINE

目次

安全上の注意 ---------- 1-2

使用上の注意 ---------- 3

各部の名称 ---------- 4

操作部とリモコン ---------- 5

本体の取り付けかた ---------- 6

使いかた ---------- 7-10

お手入れと保管 ---------- 11-13

故障かな?と思ったら ---------- 14

長期使用製品について ---------- 15

仕様 ---------- 15

保証とアフターサービス ---------- 16

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

注意を促す記号です　禁止を示す記号です　必ず行うことを示す記号です

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

指示に従う

- **電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取る**
  ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
  ショートによる火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

- **お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止

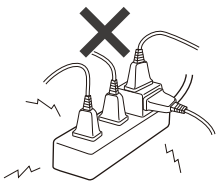
- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  感電・やけど・けがの原因になります。

禁止

- **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
  ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、相談窓口へお問い合わせください。

禁止

- **電源コードをたばねて使用しない**
  過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- **電源コードを傷つけない**
- **持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない**
  傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
  電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- **コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない**
  火災の原因になります。



- **交流100V以外では使わない**
  火災・感電の原因になります。
- **乳幼児に電源プラグをなめさせない**
  けがや感電の原因になります。

禁止

- **引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない**
- **スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）火災の原因になります。**

分解禁止

- **分解・修理・改造をしない**
  取扱説明書に記載された、使用開始時の組み立て・収納時の分解以外は、分解・修理・改造をしないでください。火災・感電・けがの原因になります。
  修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または相談窓口にご相談ください。

接触禁止

- **稼働中や電源プラグを挿しっぱなしにしている際、前ガード・後ガードのすき間から、物や手を入れない**
  感電やけがの原因になります。

水ぬれ禁止

- **湿気のある場所では使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
  火災・感電の原因になります。

安全上の注意

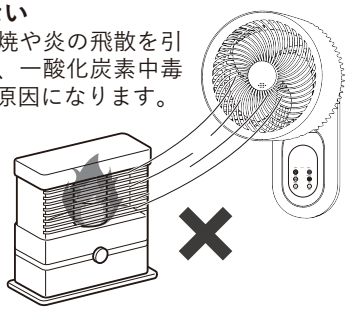
プラグを抜く

● **異常・故障時には直ちに使用を中止し、**
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとピリピリ電気を感じる

➡使用を中止し、お買い上げの販売店または相談窓口へお問い合わせください。

禁止

● **風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない**
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

プラグを抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

● **使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
火災・感電の原因になります。

禁止

● **子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない**
● **乗ったり寄りかかったりしない**
感電・けがの原因になります。

禁止

● **運転中、回転部に顔や身体、衣服などを近づけない**
● **ロープやひも、布など、巻き込まれやすい物の近くで使用しない**
けがや、周囲の物品の破損の原因になります。

● **布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない**
● **ほこり、粉塵の多い場所で使用しない**
過熱して火災の原因になります。

指示に従う

● **手の届く高さに取り付ける**
● **丈夫な壁に取り付ける**
落下して、けがや周囲の物品の破損の原因になります。扇風機の重量に耐える壁に、しっかりした方法で取り付けてください。

禁止

● **天井に取り付けない**
落下してけがの原因になります。

禁止

● **扇風機以外の用途に使用しない**
異常動作・火災の原因になります。

● **業務用など家庭用以外で使用しない**
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。

禁止

● **長時間、風を直接身体に当てない**
特に、小さな子供やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

● **動植物に直接風を当てない**
害を与えるおそれがあります。

使用上の注意

●湿気や油煙の多い場所での使用は避けてください

長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、掃除機などでは取りきれないことがあります。

●直射日光やエアコン･暖房器具の温風が当たらないところに設置してください

変形･変色したり、誤動作したりする場合があります。

●ラジオやテレビに近づけないでください

ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

●障害物(カーテンなど)の近くに設置しない

障害物(カーテンなど)がガードに吸い込まれ、
破損･故障･けがの原因になります。

●運転中のガードに、頭髪や衣類(ひも類)を近づけない

頭髪や衣類が巻き込まれ、
破損･故障･けがの原因になります。

●屋外に設置しない

故障･感電･火災の原因になります。

●天井に設置したり、本体を傾けた状態で設置しない

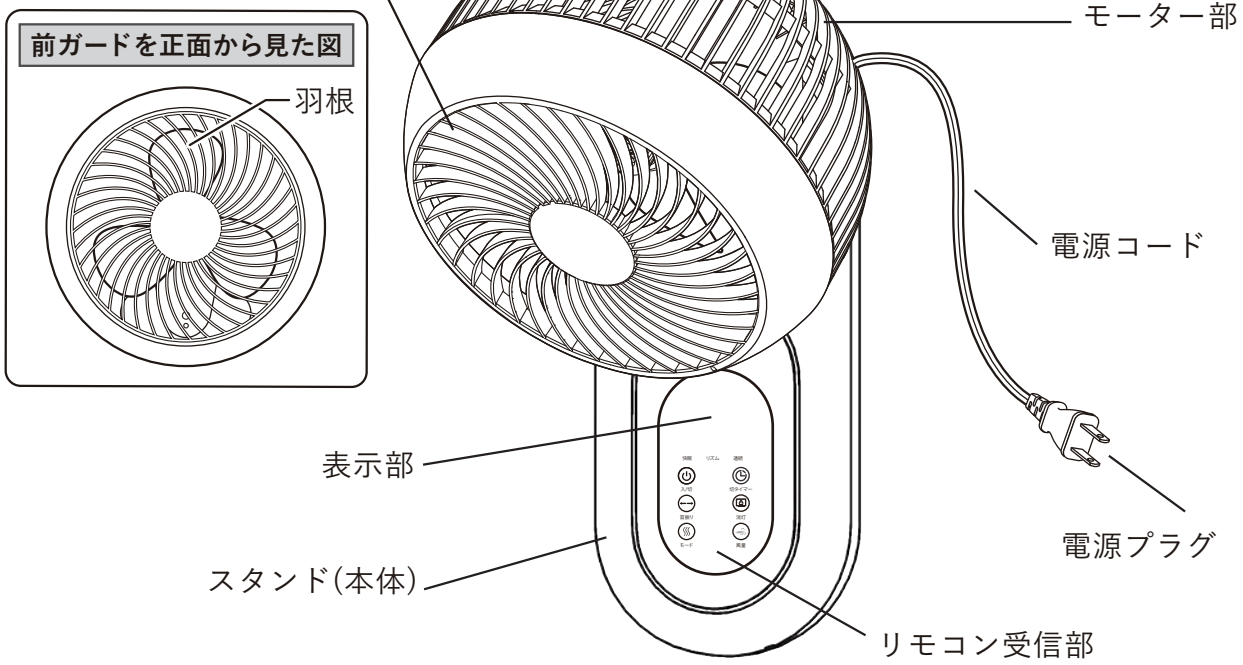
落下し、けが･故障の原因となります。

●上下の風向きを調節するときは、ガードや可動部で指をはさまないようにする

けがの原因となります。

各部の名称

本　体



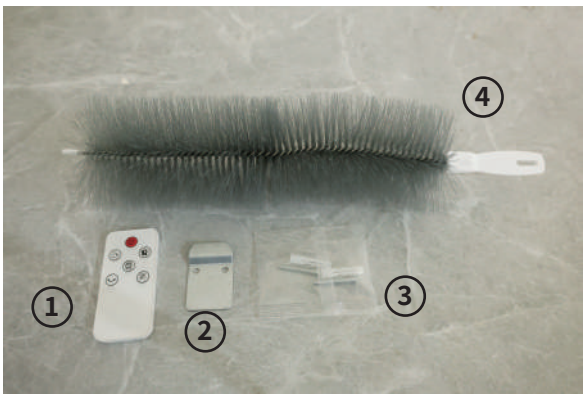
①.リモコン

②.壁掛金具(1個)

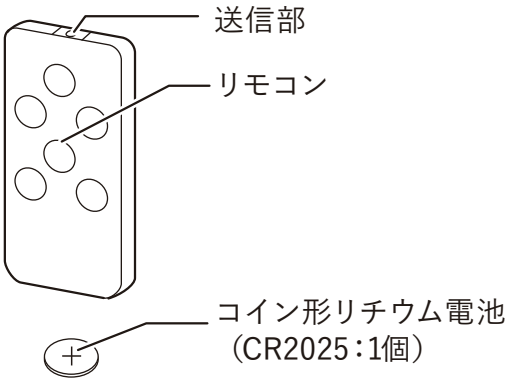
③.ネジ(2本)
　コンクリートビス（2本）

④.掃除ブラシ（1個）

付属品



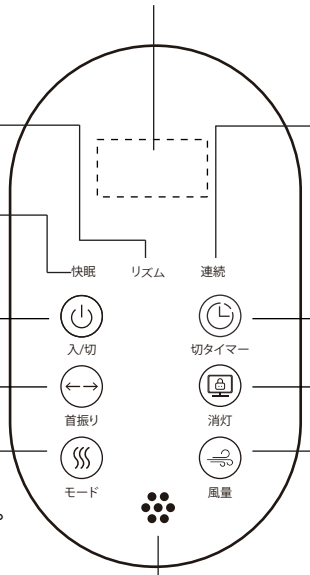
リモコン



■本書は、イラストを用いて説明しています。
ロットによって、実際の製品とは、多少異なることがあります。

操作部とリモコン

操作部



表示部 今の風量や、切タイマーの設定時間などを表します。

リズムランプ
リズムモードを設定した時に点灯します。

快眠ランプ
快眠モードを設定した時に点灯します。

入/切ボタン
電源を入れ/切ります。

首振りボタン
ボタンを押すと左右首ふりします。
再度ボタンを押すと、首ふりは停止します。

風量ボタン
風量を弱(F1)・中(F2)・強(F3)を切り替えます。

連続ランプ
風量ボタンで設定した風量で運転する際に点灯します。

切タイマーボタン
切タイマーの時間を設定します。
設定可能時間は1~12時間です。

消灯ボタン
操作部のランプを消灯します。
他のボタンを押すと、モードが終了し、
操作部と表示部の表示は元どおり点灯します。

モードボタン
ボタンを押すと、モードが切り替わります。

受信部 リモコンから出る赤外線を受信します。

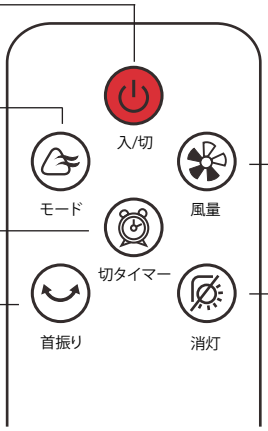
リモコン操作

入/切ボタン
電源を入れ/切ります。

モードボタン
ボタンを押すと、モードが切り替わります。

切タイマーボタン
切タイマーの時間を設定します。
設定可能時間は1~12時間です。

首振りボタン
ボタンを押すと左右首ふりします。
再度ボタンを押すと、首ふりは停止します。



風量ボタン
風量を弱・中・強に切り替えます。

消灯ボタン
操作部のランプを消灯します。
他のボタンを押すと、モードが終了し、
操作部と表示部の表示は元どおり点灯します。

お知らせ
本体操作部の一部が暖かくなることがありますが、故障や異常ではありません。

本体の取り付けかた

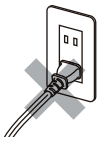
※壁掛金具や本体を取り付けるときは、事故防止のため下記に注意してください。

⚠警告

壁掛金具の取り付けは、十分強度のある場所を選んで確実におこなう

●落下して、破損・故障・けがの原因になります。

電源プラグをコンセントに差し込んだまま本体の取り付けをしない

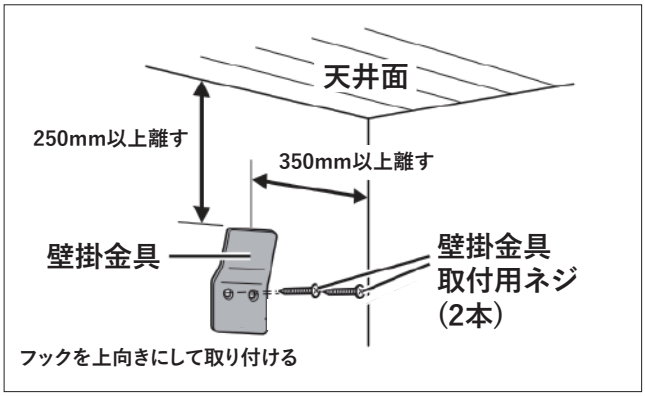


必ずお守りください

※取り付けは、製品質量（重さ）に十分耐える場所（木の柱など強度のある場所）に取り付けてください。
薄いベニヤ板、石膏ボード、しっくい壁、モルタル壁など、強度のない場所には取り付けないでください。
※自動首振り運転時や風向きをかえたときに、ガードが天井や壁に接触しないように十分離して取り付けてください。
ガードが天井や壁に接触すると、本体が破損したり、落下する原因になります。
※取り付けや取り外しのときは、けがをしないように十分注意しておこなってください。

壁掛金具を取り付ける

●垂直な壁面に、同梱のネジ（2本）で壁掛金具を壁面に対して、水平に確実に取り付けます。
※壁掛金具は、取り付ける向きがありますので下図の向きに取り付けてください。
※下図の壁掛金具取り付け距離は、自動首振り運転時や風向きをかえたときに、ガードが天井や壁に接触しない距離の目安です。
壁で風が妨げられないように、下図の距離よりも更に距離を空けて取り付けてください。



■十分強度のある場所に壁掛金具を取り付ける
■壁掛金具を取り付けたあと下記を確認する
◎ネジが確実に締めつけられているか
◎壁掛金具にぐらつきがないか

ネジの締めつけが不完全だったり、壁掛金具にぐらつきがあると、本体が落下して、破損・故障・けがの原因になります。

本体を取り付ける

●本体のフック穴をフックに確実に差し込みます。

スタンド（本体）背面

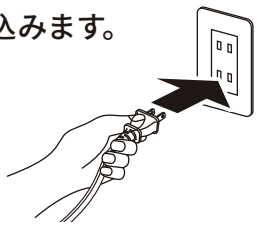
使いかた

※壁掛サーキュレーターを使用するときは、事故防止のため下記に注意してください。

⚠警告	
ガードの中、可動部、すき間に指や棒を入れない ●指を挟んだり、回転部に触れてけがの原因になります。 ◎とくに子供には、注意する。	**ガードや羽根が組み立てられていない状態で運転しない** ●故障・けがの原因になります。

電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V）に差し込む

●電源プラグを根元まで確実に、家庭用コンセント（AC 100V）に差し込みます。



⚠警告
電源コードをたばねて使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎結束バンドは、必ず外す。

運転する

●電源ボタンを押します。
●コンセントを差して、「ピッ」と音が鳴ります。電源ボタンを押して、「ピッ」と音が鳴ります。「連続」ランプが点灯し、表示部「F2」が表して風量「中」で運転を開始します。
●もう一度電源ボタンを押すと、運転を停止します。（電源切）

風量を設定する

●運転中に、風量ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、風量が下記のように順送りでかわります。

F2（中）⟶ F3（高）⟶ F1（低）

使いかた

モードを設定する

●運転中に、風量ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、
モードが「快眠」→「リズム」→「連続」の順に切り替えます。

快眠 ⟶ リズム ⟶ 連続

モードについて

●快眠モード：表示部に「F1」を表して、快眠に最適な風量で運転します。
（風量は調整不可です。）

●リズムモード：表示部に「F1」を表して、強さを変化させて、
自然に近い風を再現します。（風量は調整不可です。）

●連続モード：風量ボタンで設定すした風量で運転します。

切タイマーを設定する

●設定時間が経過すると運転を停止します。
運転中に、切タイマーボタンを押します。
ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、
切タイマー時間が０~12の順に設定できます。
設定可能な時間は1~12時間です。

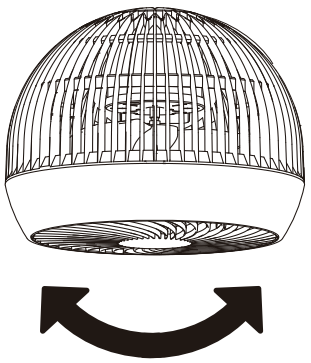
切タイマー解除

●運転中に切タイマーボタンを表示部に「00」が出るまで押してください。

使いかた

自動首振り運転を設定する

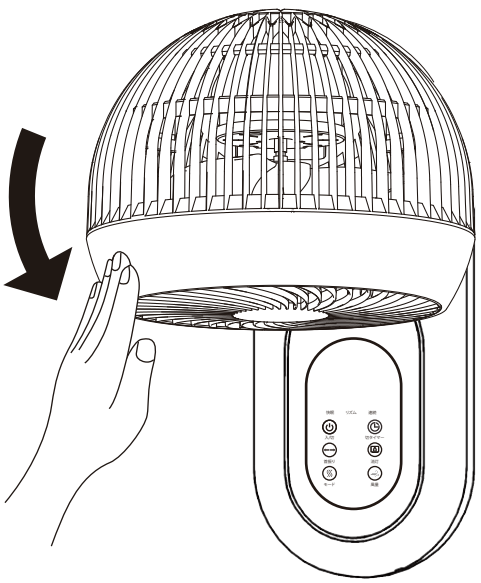
運転中に、首振りボタンを押します。
首振りランプが点灯し、左右自動首振り
運転が設定されます。もう一度首振りボタン
を押すと、左右自動首振り運転が解除されます。



上下に風向きを手動でかえる

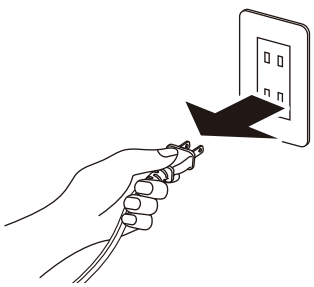
●運転を停止して羽根が完全に止まってから、前ガードを上下方向に動かします。

**風向きをかえるときは
ガードで指や手を挟ま
ないように注意する**



使用後は

●電源ボタンを押して運転が停止してから、
電源プラグをコンセントから抜きます。



使いかた

リモコン操作のしかた

1.使用する前に、絶縁シールを手前に引いて、外してください。
2.リモコン送信部をリモコン受信部に向け、ボタンを押して操作します。
リモコンで操作できる範囲は約3mです。

次のような場所では､リモコンで操作できないことがあります。

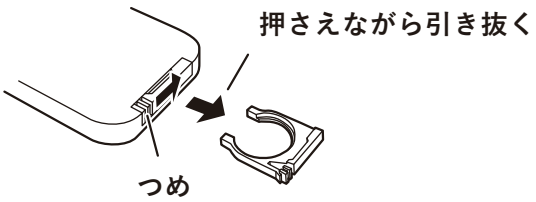
◎リモコン送信部とリモコン受信部の間に、障害物がある場所。
◎リモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光があたる場房。
◎インバーター照明器具を使用している場所。

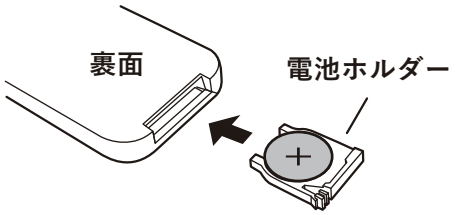
注意

※リモコンを落としたり、踏んだり、リモコン送信部を傷つけたり、液状のものをかけないでください。
リモコンで操作できなくなる原因になります。
※操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池（CR2025）に交換してください。

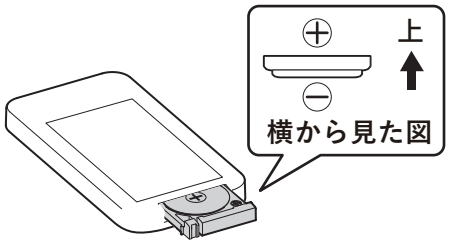
電池交換のしかた

1.電池ホルダーを引き抜く
つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。





2.新しい電池をセットする
電池ホルダーに、新しい電池を正しい向きにセットし、
リモコン本体に差し込んでください。



※電池の表裏を間違えないでください。
※使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

お手入れと保管

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠警告

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
●けが・ショート・感電の原因になります。

本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
●ショート・感電・火災の原因になります。

スタンド（本体）のお手入れ

●乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
●落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤（柑橘系は不可）に浸した柔らかいふきんを、よくしぼってふき取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

前ガード、後ガード、羽根のお手入れ

●新聞紙などを敷いて、付属の掃除ブラシでガードにさして、ホコリを拭き取ります。
又は掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
ホコリが多量に付着すると異常音、振動、モーターの過熱の原因になます。
※落ちにくい汚れは、固定ネジを外して、前ガード、
羽根を取り外してお手入れをしてください。

お手入れと保管

各部品の取り外しかた

取※取り外しのときは、けがをしないように十分注意してください。

⚠警告

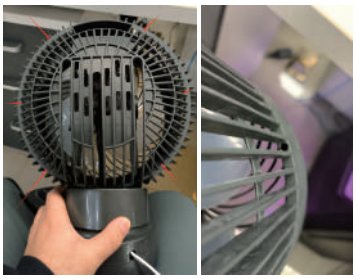
取り外しや組み立てのときは、電源プラグをコンセントに差し込まない
意図せず連転して、破損·けがの原因になります。

前ガードを取り外す

1.本体を壁から取り外します。

2.後ガードに締めた固定ネジ（6箇所）を外します

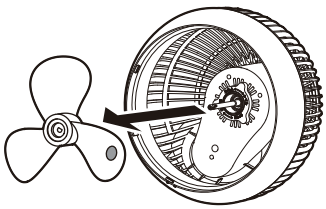
3.前ガードを手前に引き取って外します。



お知らせ

分解のしかたはQRコードをスキャンして、動画をご覧ください。

■ 羽根を取り外す



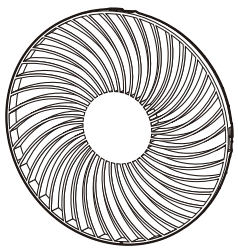
1.前ガードを外します。

2.本体を固定させて、羽根を手前に引き取って外します。

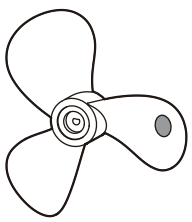
水洗いできる部品

●落ちにくい汚れは、食器用中性洗剤(柑橘系は不可)を柔らかいスポンジに含ませて、水洗いします。

●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



前ガード



羽根

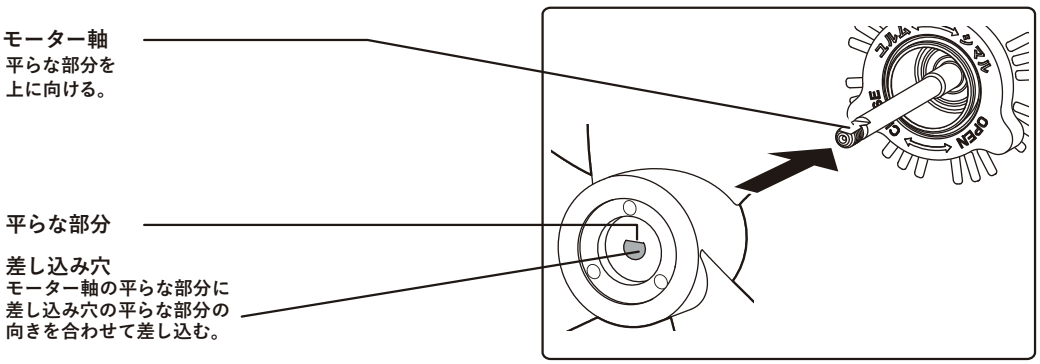
※よく乾燥させたあと、組み立ててください。

お手入れと保管

各部品の組み立てかた

■ 羽根の組み立て

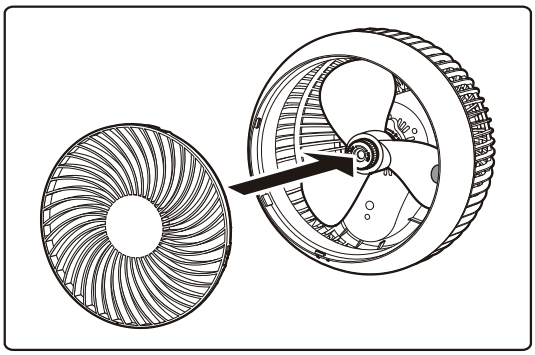
モーター軸の平らな部分を上に向け、羽根をモーター軸に奥まで差し込みます。



■ 前ガードの組み立て

1.前ガードのネジ穴を後ガードのネジ穴を合わせて、はめ込みます。

2.固定ネジを締めます。



保管

●保管の前は、必ずお手入れをします。

●お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、
直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因にります）

お願い

※リモコンは、電池を取り出してから保管してください。
※電源コードのスタンド（本体）側や電源プラグ側の根元を曲げたり、
電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状　態	考えられる理由	処　置
運転しない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
羽根が回転しない	●羽根が正しく取り付けられていない	●組み立ての手順にしたがって、羽根を正しく取り付けてください。
リモコンで操作できない	●電池が消耗している	●新しい電池に交換してください。
	●電池の向き（表裏）を間違えている	●電池を正しい向きにセットしてください。
	●リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある	●障害物を取り除いてください
	●リモコンが正しい方向を向いていない	●3m以内の距離で、リモコンの赤外線発光部を本体操作パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。
運転音が大きい	●固定ねじがゆるんでいる	●固定ねじをしっかり締めてください。
	●取り付け場所の強度がない	●しっかりした取り付け場所を選んで取り付け直してください。
	●羽根がしっかりと取り付けられていない	●組み立ての手順にしたがって、前･後ガードをしっかり取り付けてください。
	●前･後ガードがしっかりと取り付けられていない	●組み立ての手順にしたがって、前・後カバーをしっかり取り付けてください。
首ふり時にカタコトという音がする	●首ふり運転時にモーター特有の音が大きくなることがある	●異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店または相談窓口にお問い合わせください。

警告 ●自分で分解・修理・改造しないでください。

長期使用製品について

設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る原因になります。

使用中に以下のような症状が見られた場合は、
- ●操作パネルのボタンを押しても何も反応しない
- ●羽根が回るときに異常な音がする
- ●羽根が回るときにスピードが不規則に変化する
- ●電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている
- ●電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- ●焦げたようなにおいがする

使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または相談窓口にご相談ください。

※ この製品の設計上の標準使用期間は、製品本体に表示されています。

■設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 ／ 60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置	本書に基づく設置
負荷条件		本製品の最大定格での運転
想定時間	運転時間	8h ／日
	運転回数	5回／日
	運転日数	110日／年
	スイッチ操作回数	550回／年

注意 **製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たないときでも、異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店または相談窓口にご相談ください。**

仕様

品名	壁掛けサーキュレーター
型番	KC-FS-237A
定格電圧	AC100V～
定格周波数	50/60Hz
定格電力	35W

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

保証書

品名	壁掛けサーキュレーター
品番	KC-FS-237A
保証期間	お買い上げ日より：1年間

保証対応をお求めいただく際、必要な情報：

- ●ご注文番号
- ●不具合が確認できる動画/写真
- ●連絡先

保証規定

1 保証期間内に、商品は取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて交換または返金いたします。
2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、相談窓口にお問い合わせください。
5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
⑥ 本書の提示がない場合
6 本書は日本国内においてのみ有効です。
7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の対応などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または相談窓口にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品については、下記をご覧ください。

■ 保証期間経過後の対応

お買い上げの販売店または相談窓口にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて対応いたします。

■ 補修用性能部品について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造又は保有するのは相談窓口までご確認ください。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または相談窓口にお問い合わせください。

相談窓口

03-4579-8386
support@keecoon.com
@455mppqy
（土日祝・年末年始･会社都合による休日を除く）